

ScanSnap と Remark をセットでご利用になる場合

Remark で高い認識精度を得るにはいくつか条件があります。

スキャナー連携における主な条件は次の二つです。

条件1：白黒でスキャンすること

条件2：常に同じ設定で用紙のスキャンを行うこと

ScanSnap と Remark をセットでご利用になる場合、本ドキュメントの手順に従って操作を行うことで条件を満たすことができます。

| | |
|---|------------------------------|
| 1 | ScanSnap で「プロファイル」(スキャン設定)作成 |
| 2 | Remark テンプレート用の用紙イメージのスキャン |
| 3 | Remark 読み取り用の記入済み用紙イメージのスキャン |

1. 「プロファイル」作成 ※初回のみ

ScanSnap 付属のソフト「ScanSnap Home」で Remark 用の「プロファイル」を設定します。

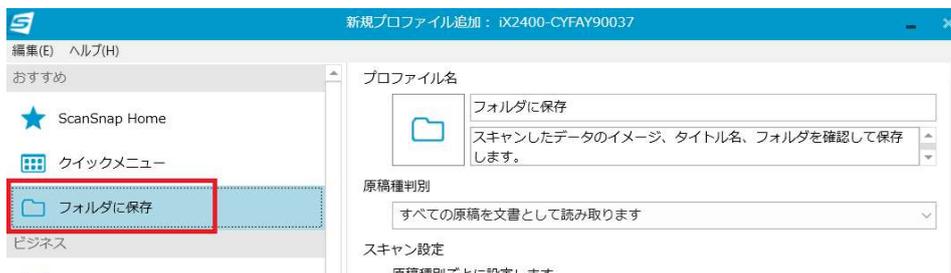
1) 「ScanSnap Home」を起動→「設定」メニュー→「スキャン設定」を選択します。



2) 「プロファイル追加」ボタンをクリックし、プロファイルを追加します。



3) 画面左側にある「フォルダに保存」を選択します。

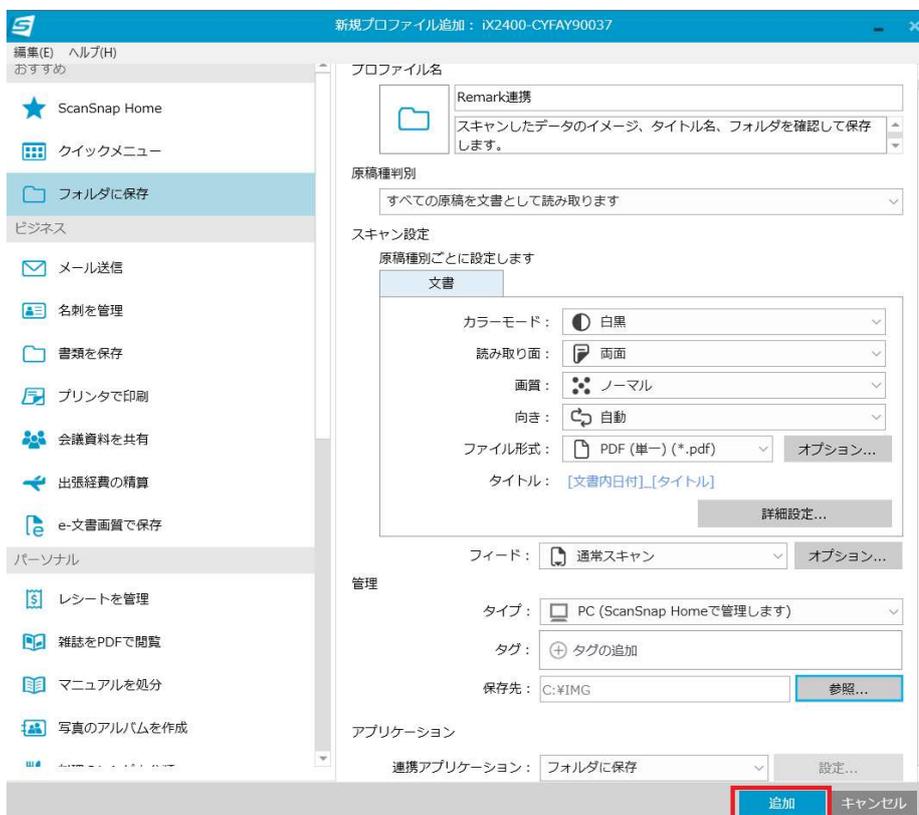


4) プロファイルを作成します。

| | |
|---------|-------------------------------------|
| プロファイル名 | 任意 (例: 「Remark 連携」、「Remark 用イメージ」等) |
| 原稿種判別 | すべての原稿を文章として読み取ります |
| カラーモード | 白黒 |
| 読み取り面 | 片面 もしくは 両面 |
| 画質 | ノーマル |
| ファイル形式 | PDF (*.pdf) |
| 保存先 | (「参照」ボタンをクリックして任意のフォルダを設定します。) |

※カラーモード、画質、ファイル形式は、必ず上の設定にしてください。

5) 画面右下の「追加」ボタンをクリックします。



6) 追加したプロファイルのアイコンが表示されます。「スキャン設定」を閉じます。



補足：

- ・ ScanSnap 及び「ScanSnap Home」の操作は ScanSnap のマニュアルをご覧ください。
ご不明点は ScanSnap のサポート窓口にご相談ください。
- ・ Remark で高い認識精度を得る条件は Remark マニュアル、もしくは弊社 HP にある Remark FAQ ページをご覧ください。

2. テンプレート用イメージのスキャン

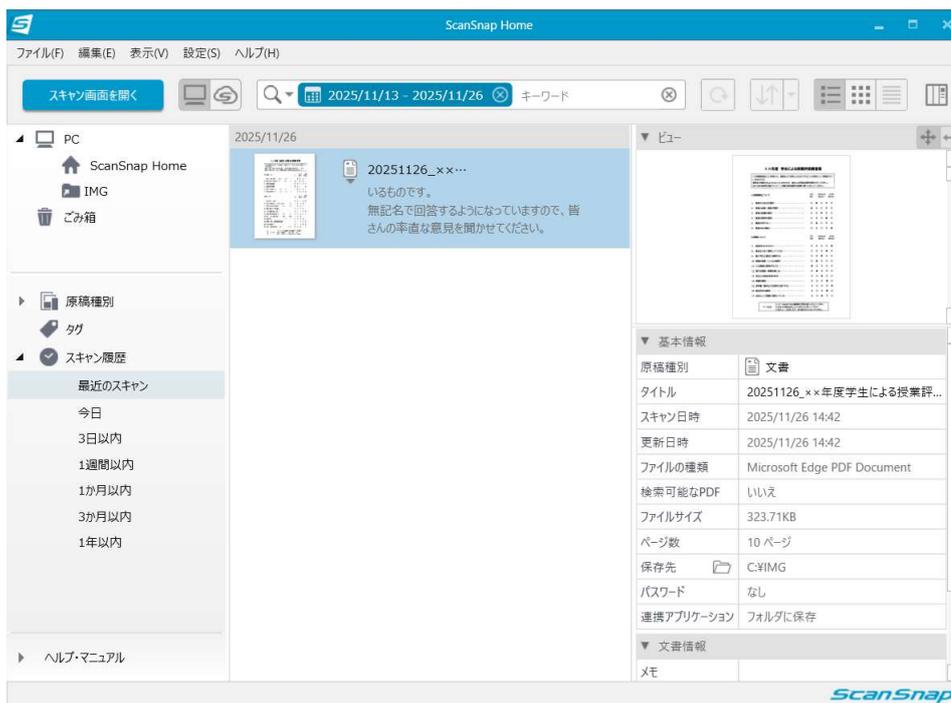
Remark で認識処理を行うにあたり、処理対象の用紙イメージを取り込んでテンプレートを作成する必要があります。

1) ScanSnap に未記入の用紙をセットします。

2) 「ScanSnap Home」を起動し、「スキャン画面を開く」ボタンをクリックします。



3) 作成した Remark 用のプロファイルを選択し、「Scan」ボタンをクリックすると、スキャン後、指定フォルダにスキャンイメージが保存されます。



- 5) このスキャンイメージを使用し、Remark Office OMR Template Editor で、Remark のテンプレートを作成します。
- テンプレートの作成手順は「Remark Office OMR 11 ユーザーズガイド」の「第三章 Template Editor」をご覧ください。

3. 記入済み用紙のスキャン

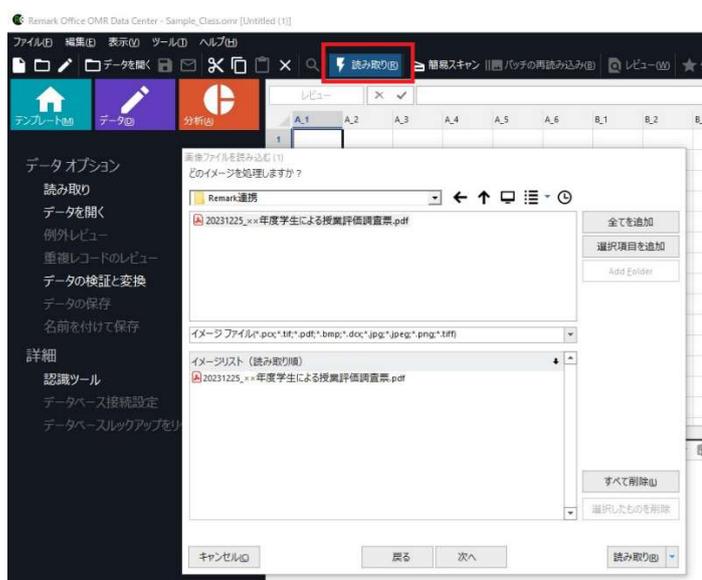
配布する記入用紙は、テンプレート作成時に使用した未記入用紙と同じもの（同じ設定かつ等倍率で印刷したもの）をご利用ください。

配布→記入→回収した記入済み用紙を ScanSnap でスキャンします。

手順は「2. テンプレート用イメージのスキャン」と同じです。

- 1) ScanSnap に記入済み用紙をセットします。
- 2) 「ScanSnap Home」を起動し、「スキャン画面を開く」ボタンをクリックします。
- 3) 作成した Remark 用のプロファイルを選択し、「Scan」ボタンをクリックすると、スキャン後、指定フォルダにスキャンイメージが保存されます。
- 5) このスキャンイメージを Remark に取り込みます。

Remark Office OMR Data Center を起動→処理するテンプレートを開く→「読み取り」ボタン→「イメージの読み取り」ボタン→保存フォルダを指定→イメージファイルを選択して読み取りを実行すると、認識結果が表示されます。



The screenshot displays the Remark Office OMR Data Center interface. The main window is titled "レビュー" (Review) and shows a data table with columns labeled A.1 through B.6 and rows numbered 27 to 34. The cell at row 30, column A.4 is highlighted with a black border and contains the value "1".

| | A.1 | A.2 | A.3 | A.4 | A.5 | A.6 | B.1 | B.2 | B.3 | B.4 | B.5 | B.6 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 27 | 4 | 3 | 2 | 3 | 4 | 2 | 3 | 4 | 1 | 3 | 3 | 3 |
| 28 | 4 | 3 | 2 | 3 | 4 | 2 | 3 | 4 | 1 | 3 | 3 | 3 |
| 29 | 2 | 5 | 1 | 1 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 5 | 3 |
| 30 | 2 | 5 | 1 | 1 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 5 | 3 |
| 31 | 2 | 5 | 1 | 1 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 5 | 3 |
| 32 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 33 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| 34 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |

Below the table, there is a bar chart titled "A 4" showing the distribution of values for column A.4. The x-axis is labeled "行方不明" (Row direction unknown) and has categories 5, 4, 3, 2, 1. The y-axis ranges from 0 to 15. The bars represent the following counts: 5 (red, height 8), 4 (orange, height 12), 3 (yellow, height 8), 2 (green, height 8), 1 (purple, height 4).

The interface includes a left sidebar with "データオプション" (Data Options) and "詳細" (Details) sections. The "データオプション" section lists: 読み取り (Load), データを開く (Open Data), 例外レビュー (Exception Review), 重複レコードのレビュー (Review Duplicate Records), データの検証と変換 (Data Validation and Conversion), データの保存 (Save Data), and 名前を付けて保存 (Save with Name). The "詳細" section lists: 認識ツール (Recognition Tool), データベース接続設定 (Database Connection Settings), and データベースロックアップをリターン (Return Database Lockup).

At the bottom of the window, the serial number "R20800001" and version "バージョン: 11.4 ビルド4" are displayed.

手順は「Remark Office OMR 11 ユーザーズガイド」の「第四章 フォームの処理」をご覧ください。